

「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～ 第1回

1. 実施日

令和4年4月14日（木）6限

2. 場所

講堂（2クラス合同実施）

3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 6組 ミューリニコラス 矢野 和久 中村 啓介
7組 戸田 雄一郎 佐々木 啓成

5. 内容

(1) 担当者自己紹介（1人3分程度）

(2) 鳥羽高校課題研究の流れ [佐々木]（2分）

イノベーション探究Ⅰからイノベーション探究Ⅲまでの全体像を説明

○1年生は地域発見プログラムとして「京の智の再発見」をテーマに探究活動を行う。

○2年生はグローバル・ジャスティスプログラムとして「グローバル・イシュー」をテーマに探究活動を行う。

○3年生は、2年生の探究の成果を英語で発信する。

(3) 探究で身に付く汎用的能力 [佐々木]（2分）

課題設定力・情報収集力・分析力・提案力・主体性などが身に付くことを伝える。

(4) 昨年度のイノベーション探究Ⅰの優秀研究のプレゼンテーション [中村]（15分程度）

(5) 自己開示と他者理解をテーマにしたアイスブレイク

○3つ選んで自己紹介（7分程度）

「趣味」、「マイブーム」、「中学校で頑張ったこと」、「レアな体験」、

「マジでやばかった」、「おすすめのお店」、「将来の夢」などのテーマの中から聞き手が3つ選び、話し手はそれについて自己紹介をする。

○妄想自己紹介（7分程度）

「タイムマシーンで行ってみたいところは?」、「宝くじで5億円が当たったら?」などのお題について話し合う。

6. 学び

(1) 鳥羽高校グローバル科の課題研究の全体像を理解する。

(2) 探究で身に付く汎用的能力について学ぶ。

(3) 昨年度の優秀研究プレゼンを見ることで、イノベーション探究Ⅰのゴールを確認する。

(4) 自己開示と他者理解の大切さを学ぶ。

7. 次回への課題

今回はガイダンスとアイスブレイクなので、課題は特になし。

8. 授業の振り返り

ガイダンスでは、各担当者が自己紹介とともに、これまでの探究指導経験に基づいた話をし、探究活動の大切さや、適切な心構え等について熱心に耳を傾けていた。また、昨年度の優秀研究を紹介し、イノベーション探究Ⅰのゴールを確認した。自己開示と他者理解をテーマとしたアイスブレイクでは、グループで笑顔が溢れ、仲間と積極的に話そうとする姿が見られた。